

困苦に会ひたりしは我に善きことなり これによりて我 汝の律法を学び得たり【詩篇 119:71】

第一主日イースター礼拝 ① 午前 9:00-10:00
 ② 午前 11:00-12:00
 ②=YouTube 配信

前奏・黙祷

招 詞 詩篇 24 篇 7-10 節 (旧約 955)

賛 美 墓の中に (インマヌエル 437)

交 読 詩篇 34 篇 1-10 節 (旧約 964)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 マタイの福音書 28 章 1-10 節 (新約 61)

牧者公祷 (換気を行います)

説 教 『そこで会えます』 松井 元始 牧師

応答のとき

賛 美 十字架に主なるイエスは (インマヌエル 441)

感謝祈禱 (献金の感謝とともに)

頌 栄 父・御子・御霊の (インマヌエル 7)

祝 祷

後奏・黙祷

* * *

報 告

【献金は週報に添付の封筒を用いて、入口の献金かごにお入れください】

〈司会〉 〈奏楽〉 〈受付〉 〈聖書朗読〉 〈感謝祈禱〉

【第1部】松井師 里見姉 鈴木姉 鈴木姉 牧子師

【第2部】松井師 牧子師

インマヌエル王子キリスト教会 牧師:松井元始

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>

E-mail: immanuelojchurch@gmail.com

銀行振込:みずほ銀行 王子支店 普通 1364893



『そこで会えます』 (マタイの福音書 28 章 1-10 節) 2021.4.4.

<はじめに> 今日はイースター、主イエスのよみがえりの日です。十字架で死なれたイエスがこの日の明け方によみがえられました。死人がよみがえるとはなかなか受け入れ難いことですが、ここまで明言されているのは、よみがえったイエスに会った人たちがいるからです。

I よみがえったイエスに会う

①エルサレムで

墓を訪ねた女たち(1-10)、女たちから知らせを受けたペテロとヨハネ(ヨハネ 20:1-10)、園に佇むマグダラのマリア(ヨハネ 20:11-18)、エマオへの道を下る2弟子(ルカ 24:13-35)、部屋に閉じこもる弟子たちには2度にわたって(ヨハネ 20:19-25)イエスは現れました。

②ガリラヤで

イエスは弟子たちにガリラヤでの再会を告げられ(7,10)、弟子たちも向かいます。ガリラヤ湖畔での突然の再会(ヨハネ 21:1-14)、ペテロへの問い掛け(ヨハネ 21:15-23)、山での再会と大宣教命令(28:16-20)を通して、彼らはイエスが復活されたことを確信します。

③もしイエスが...

よみがえったイエスは、群衆や十字架につけた宗教指導者やローマ兵にはその姿を現されていません。現れたなら彼らは信じたでしょうか。イエスはご自分の復活をまず弟子や親しい者たちに示し、その信仰を建て上げようとしています。

II 前から言っておられたとおり(6)

①十字架前の予告(26:31-32)

イエスは、幾度も十字架での死と復活を予告され、更にガリラヤに向かわれることまでも明言されています。その時の弟子たちには、イエスの言葉は到底理解できませんでした。自分たちのことで精一杯だったからです。

②ゼカリヤの預言(ゼカリヤ 13:7-9)

弟子たちが十字架を前につまづき、散り散りになることも、イエスはゼカリヤの預言を引用して予告されました。引用された預言には続きがあります。そこには試練の後に彼らが主を呼び求め、「これはわたしの民」「主は私の神」と信仰と交わりの回復が記されています。

③ガリラヤへ行きます(26:32)

復活のイエスは、このゼカリヤの預言を意識されて、「ガリラヤに行く」と語られました。主を見失い、途方に暮れる弟子たちをもう一度御許に呼び寄せ、彼らの信仰を立て直すためです。

III 弟子たちに伝えなさい(7,10)

①イエスが現れて

エルサレムで復活の主が現れたのは、いずれも突然・一方的な主からのアプローチです。「数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示すためでした(使徒 1:3)。しかし、それでもなお疑う者や信じない者もいました。

②ガリラヤで会えます

十字架前の予告(26:32)、御使い(7)と主のことば(10)で、ガリラヤでの再会が約束されています。それを聞いた弟子たちが信じるなら、ガリラヤに急行するはずで、見て信じることも幸いです。イエスのことばを信じることはそれ以上に幸いです(ヨハネ 20:29)。

③あなたがたより先に

主は私たちよりも先を進まれています。前もって語られることが理解できなくても、心に留めて手放さないで置きたいものです。後になってそれが思い起こされ、主がなさろうとすることが見えて来る時が来ます。そして、主のことばが真実であるとの確信に至ります。

<おわりに> 復活の主は、弟子たちにみことばを信じる信仰を確かにしようとしています。今も主の姿は見えずとも、みことばを信じる者は主とお会いし、主の御声を聞くことができます。その経験がよみがえられた主が今も生きておられる証しです。(H.M.)